

貝塚に対する国(環境省)と地方公共団体の解釈の違い

このサイトは国の解釈ではなく地方公共団体(市町村)の解釈を支持しています。

環境省公式サイト(循環型社会白書)

貝塚は古代人の言わば日常生活から排出される**ごみの捨場所であったことはよく知られています。**

奥尻町公式サイト

貝塚はゴミ捨て場ではなく、昔の人が食べ終えたもの、道具なら使い終えたものをほおむる**墓地のような場所だったのです。**

宮古市公式サイト

貝塚は単なるゴミすて場ではなく、食糧となってくれた貝・魚・動物たちや役目を終えた土器や石器などの道具たちに**感謝をこめて、それらの魂をもとの場所に送り返す場だったと考えられます。**

小田原市公式サイト

貝層中から埋葬された成人男性の骨も出土しており、**貝塚が単にゴミ捨て場ではない**という、縄文人の死後に対する意識もみてとることができます。

三島市公式サイト

貝塚は単なるゴミ捨て場ではなく、**すべての生命を終わったものの置き場として築かれたもの**と考えられ、縄文人がすでに人間の生命を神聖視していたことが明らかになりました。

市原市公式サイト

縄文時代の貝塚は、**現代日本人の思う単純なゴミ捨て場という感覚でとらえてはいけない**ようなのです。西広貝塚の場合では50体前後の埋葬人骨が検出されていますので、墓場を兼ねる性格を持っていたと考えられますし、また、特殊な石器や土製品が見つかることからすると**何かの儀礼につかわれる祭場でもあったのでしょう。**